

第5回第2期陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議（令和4年11月22日開催）における効果検証

※ 委員から意見のあった項目のみ記載

■陸前高田市第2期まち・ひと・しごと総合戦略対象事業 実施状況

| 基本目標 | 基本施策 | 具体的な施策 | 事業名 | 事業内容 | 令和2年度実績 | 令和3年度実績 | 委員からの意見 |
|---|-----------------------------|---------------------------|-----------------|--|--|---|---|
| 1 陸前高田への新たな人の流れを創造し、「しみん」が集うまちをつくる | ①「陸前高田思民」の拡大と市民総活躍の環境づくり | 交流人口の拡大及び関係人口の創出 | 思民交流事業 | <ul style="list-style-type: none"> 本市に関心と愛着を持ち、何度も繰り返し訪問され、市民交流を続けている方々や、ふるさと納税に協力いただいた人など、本市に関わりを持ち続けている方々を対象として、「思民」の会員募集や情報発信を行い、本市との新たな人の流れを創造する。 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、思民交流会の開催を見合わせた。 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、思民交流会の開催を見合わせた。 | <ul style="list-style-type: none"> 「たかたのゆめちゃん」というキャラクターコンテンツを活かしていくべきだと思う。 来年は関東大震災から100年となり、震災の形は違うが本市の知見などを発信することが出来たら良い。 |
| | | 道の駅を拠点とした観光客の市内周遊の促進 | 観光客市内周遊促進事業 | <ul style="list-style-type: none"> 本市の特産品、食、体験を、道の駅を拠点として提供、情報発信することで、本市ファンの創出、道の駅来場者の拡大を図る。 産学官民が連携し、地域資源を観光コンテンツ化し道の駅を拠点として提供することで、観光客の市内周遊を誘導し促進する。 道の駅を拠点とした観光施策により、市内経済の循環を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度道の駅来客数：427,860人 中心市街地への人の誘導を促進するため、デジタルサイネージによる情報を発信するとともに、市内店舗の紹介とサービスが受けられるカードを発行した。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度道の駅来客数：521,960人 道の駅において、いちごや、生姜など、地元産品を使った新たな商品開発をはじめ、旬を迎えた海産物、農産物の即売、さらに、道の駅公式オリジナルグッズなどの製作に取り組むなど、様々なジャンルの販売を通じて、本市の魅力発信に努めた。 新たに市内を巡るサイクリングツアーを造成し、新たな魅力発信に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 道の駅や一本松までは観光客が来るので、道の駅とショッピングセンターの間の距離の壁を薄くできると良い。 飲食店認証制度や経営支援とリンクさせることが大切だと思う。 |
| 2 若者や女性が活躍できるしごとの創出につなげ、これを支える人材を育て活かす | ② 起業家・新規事業者応援プロジェクト | 起業家の育成と雇用を生み出す新規事業への支援 | SDGs 起業家育成プログラム | <ul style="list-style-type: none"> 本市において、SDGs達成における社会課題解決に対する事業を志す者に、起業塾・マッチングツアー・ビジネスプラン発表会を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 市内外における起業に興味関心がある方に対し、市内における先輩起業家との交流会を行い、本市の現状等を確認してもらいながら、それぞれのビジネスプランの具体化を図った。 3名参加 3名起業 | <ul style="list-style-type: none"> 市内外における起業に興味関心がある方に対し、市内における先輩起業家との交流会を行い、本市の現状等を確認してもらいながら、それぞれのビジネスプランの具体化を図った。 9名参加 0名起業 | <ul style="list-style-type: none"> 起業・創業はなかなか多くの人にももらえるわけではない。地元企業がもう一度踏ん張って経営を見直していくため、地域に元々根ざしている事業者を支援することが必要だと思う。 |
| 3 結婚・出産の希望をかなえ、子育てを協働で支える環境と、誰もが活躍できる地域社会をつくる | ② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の確立 | 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進 | 子育て支援団体等活用促進事業 | <ul style="list-style-type: none"> NPO法人が運営する地域子育て支援センターへの補助 子育て支援ネットワーク会議の構成団体のうち有志が実施する「お弁当届けようプロジェクト」への後方支援 夏休み、冬休みにひとり親家庭等の希望者に食糧を配付するフードバンク事業への支援 | <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターへの補助1件（延べ利用人数2,617人） フードバンク事業配付数 夏休み42件、冬休み53件 | <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターへの補助1件（延べ利用人数2,778人） お弁当届けようプロジェクトによる弁当配付18世帯61個 フードバンク事業配付数 夏休み51件、冬休み42件 | <ul style="list-style-type: none"> お弁当届けようプロジェクトに関して、継続した支援が必要だが、材料費等もかかり資金面の獲得が課題となっており、一緒に検討できたらと思う。 |
| | | ③ 誰もが活躍できる地域社会をつくる | 共生・協働のまちづくりの推進 | 協働のまちづくりの推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> 市・コミュニティ推進協議会・各種地域団体・まちづくり団体による分野別意見交換会などの開催や協働によるまちづくりの推進体制を構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に実施した「地域づくり人づくり市民講座」を令和2年度も実施を検討したが、新型コロナウイルスの影響により、開催を見合わせた。 | <ul style="list-style-type: none"> 「協働のまちづくり指針策定懇話会」を5回開催し、「陸前高田市協働のまちづくり指針」を策定した。 |